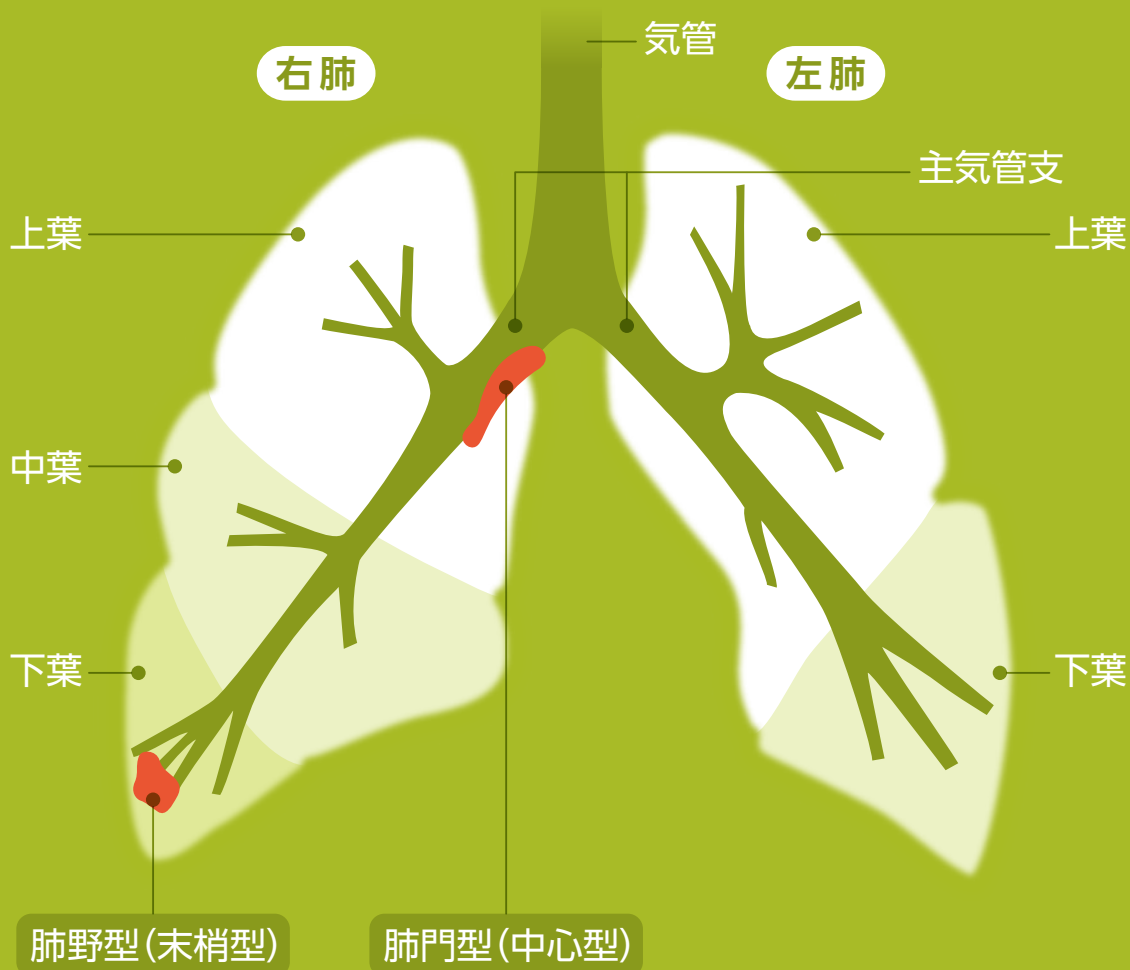


よくわかる

# 肺がん

## Q&A



肺がんに関する患者さんにご家族向けのガイドブック「よくわかる肺がん」第3版を出版することになりました。第1版、第2版は平成19年に出版されたので、5年ぶりの大改訂ということになります。この5年間に肺がんの診断や治療は大きな変貌を遂げました。たとえば、

- ①肺がんの原因となる重要な遺伝子異常が発見され始めたこと
- ②新しい有望な抗がん剤（化学療法薬と分子標的治療薬）が登場したこと
- ③最適な薬剤投与方法の開発に関する新たなエビデンスが次々に登場してきたこと
- ④日本人と欧米人とでは肺がんに違いがあることが判ってきたこと（たとえば、日本ではタバコとは関係がなく、比較的予後の良い—たちの良い—肺がんが多いことなど）
- ⑤あらかじめ肺がんの遺伝子異常を検査した上で最適な治療法を選択することが一般化したこと

などが挙げられます。

これらの進歩に伴って、この患者さんやご家族向けのガイドブックも一新する必要が生じました。NPO法人西日本がん研究機構（WJOG）が作成したのですが、第2版同様このガイドブックは日本肺癌学会から同学会の公式の「患

---

者さん・ご家族向けガイドブック」として公認を受ける予定です。

国民の命を奪う病気の筆頭はがんであり、なかでも肺がんはがん死亡原因の第一位の座にあります。とはいえ、その治療成績は確実に進歩しつつあります。世界と比べると、我が国の肺がん治療の成績は群を抜いて素晴らしいものです。肺がんを乗り切るために、あるいは上手につきあうために、このガイドブックがお役に立つことができれば幸いです。

WJOGは、社会への啓発活動と臨床研究・臨床試験を通じて、社会に対してがん医療の最新情報を伝え、最適医療を提供することを目的として活動を行っています。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

# もくじ

巻頭言	2
本書の使い方	12

## 第1章 がん・肺がんについて 15

Q 001 「がん」とはどのような病気ですか	16
Q 002 肺はどんな働きをしているのですか	18
Q 003 肺がんのできる場所と発見方法を教えてください	20
Q 004 肺がんの細胞にはいくつかの種類があると聞きましたが	22
Q 005 肺がんは増えているのでしょうか	23
Q 006 肺がんの原因はなんですか どのような人になりやすいのでしょうか	24
Q 007 たばこはやめた方が良いのですか	25
Q 008 CT検診について教えてください	26

## 第2章 よい病院選び インフォームド・コンセント／セカンドオピニオン 27

Q 009 肺がんはなおりますか	28
Q 010 どの科を受診したらよいのですか	29
Q 011 病院の選び方を教えてください	30
Q 012 主治医にはどのように接したらよいですか	31
Q 013 主治医に聞いておくべきことはなんですか	32
Q 014 説明を受けるにあたって準備することはありますか	33
Q 015 主治医の勧める治療をどのように判断したらよいですか	34
Q 016 セカンドオピニオンとはなんですか	35
Q 017 セカンドオピニオンはどのようにしたら受けられますか	36

Q 018	肺がんと言われ不安でしかたないのですが どうしたらよいでしょうか	37
-------	-------------------------------------	----

### 第3章 診断と進行度(臨床病期分類) 41

Q 019	肺がんになるとどんな症状が現れるのですか	42
Q 020	肺がんの転移しやすい場所と症状について教えてください	44
Q 021	肺がんと診断するまでの手順を教えてください	46
Q 022	肺がんを確定するための検査について教えてください	48
Q 023	生検やその結果わかることについて 詳しく知りたいのですが	49
Q 024	リンパ節転移とはどういうことですか	50
Q 025	病気の拡がり(臨床病期)について教えてください	51
Q 026	肺がんの「臨床病期」はどのようにして決められるのですか	52
Q 027	CT検診の放射線被ばくは大丈夫でしょうか	54
Q 028	検査による被ばくが心配ですが 検査を受けても大丈夫でしょうか	55

### 第4章 治療概要 57

Q 029	肺がんにはどのような治療法がありますか	58
Q 030	PS(パフォーマンス・ステータス)とは何ですか なぜ重要なのですか	59
Q 031	治療効果はどのように判断しますか PRやCRとはどういう意味ですか	60
Q 032	緩和医療・緩和ケアとはどのようなものですか	61
●	解説	62

## 第5章 外科治療(手術とは) —————65

- Q 033 肺がんの手術とはどういうものですか  
どのように手術をするのですか ————— 66
- Q 034 手術をするかどうかはどのようにして決められるのですか — 69
- Q 035 手術の前に準備すべきことは何ですか ————— 70
- Q 036 80歳ですが手術はできますか ————— 71
- Q 037 「手術が成功した」とはどういうことを言うのですか ————— 72
- Q 038 手術後にはどのようなことに気をつけたらよいですか ————— 73

## 第6章 薬物療法 —————75

- Q 039 がん化学療法とはどんな治療ですか ————— 76
- Q 040 化学療法を受けているときには  
どんなことに注意したらよいですか ————— 78
- Q 041 肺がんの化学療法に使われる薬について教えてください — 80
- Q 042 抗がん剤治療はつらいと聞きましたが  
副作用について教えてください ————— 82
- Q 043 分子標的治療とはどのような治療ですか ————— 84
- Q 044 肺がんの治療薬として承認されている  
分子標的治療薬はありますか ————— 86
- Q 045 分子標的薬はどのような患者に効くのですか ————— 88
- Q 046 分子標的薬には従来の抗がん剤のような  
副作用はないのでしょうか ————— 90
- Q 047 分子標的薬での治療をする場合  
入院が必要ですか ————— 92
- Q 048 分子標的薬はいつまで続けるのですか ————— 93

## 第7章 放射線治療 95

- Q 049 放射線治療とはどういう治療法ですか 96
- Q 050 放射線がどうしてがんに効くのですか 97
- Q 051 放射線の線量とは何のことですか  
肺がんではどれくらいの量や回数をあてるのですか 98
- Q 052 放射線治療の装置について教えてください 99
- Q 053 放射線の治療計画について教えてください 100
- Q 054 放射線治療の実際と  
スタッフについて教えてください 101
- Q 055 放射線治療の最近の進歩について教えてください 103
- Q 056 化学放射線療法について教えてください 105
- Q 057 放射線治療に伴う合併症について教えて下さい 106

## 第8章 緩和医療 107

- Q 058 緩和医療とはどういうものですか 108
- Q 059 ホスピス・緩和ケア病棟とはどのようなところでしょうか 109
- Q 060 抗がん剤で治療中ですが  
痛みを取ってもらえないのでしょうか 110
- Q 061 骨に転移して痛いのですが治療法はありますか 111
- Q 062 緩和医療を受けるにはどうすればよいですか 112
- Q 063 気分が落ち込んで憂うつです  
しかたないのでしょうか 113
- Q 064 呼吸が苦しいのです  
緩和医療で和らぎますか 114
- Q 065 痛みをとるにはどのような方法がありますか 115
- Q 066 モルヒネで麻薬中毒にならないのですか 116
- Q 067 モルヒネを服用できなくなったらどうなるのですか 117
- 解説 119

## 第9章 非小細胞肺癌の治療 \_\_\_\_\_ 123

### 非小細胞肺癌の治療全般について

- Q 068 非小細胞肺癌の治療は  
どのようにして決められるのですか \_\_\_\_\_ 124

### I A期:手術で治療する状態

- Q 069 I A期では手術をすれば治るのですか \_\_\_\_\_ 126

### I B期:術後に抗がん剤の飲み薬を追加する状態

- Q 070 どうしてI B期の手術後に抗がん剤を  
飲むことがあるのですか \_\_\_\_\_ 128

### II A ~ III A期:手術に抗がん剤(点滴)を組み合わせる状態

- Q 071 II期・III期ではどのような治療の選択肢がありますか \_\_\_\_\_ 129

### 切除不能III A ~ III B期:手術前に抗がん剤や放射線療法を組み合わせる状態

- Q 072 術前III期と診断されましたが化学放射線療法後に  
手術を考える場合があると聞きました  
どの場合に手術が考えられるのでしょうか \_\_\_\_\_ 130

- Q 073 切除不能のIII期(局所進行肺癌)と言われました  
どのような治療が選択されますか \_\_\_\_\_ 131

- Q 074 抗がん剤と放射線治療の併用療法の副作用には  
どのようなものがありますか \_\_\_\_\_ 133

### IV期:抗がん剤だけで治療する状態

- Q 075 IV期肺癌と言われましたが治る見込みはありますか \_\_\_\_\_ 135

- Q 076 IV期肺癌といわれました  
この状態で私に最も適した治療は何ですか \_\_\_\_\_ 136

- Q 077 シスプラチンを含む抗がん剤治療を勧められましたが  
副作用が強いと聞いて心配です \_\_\_\_\_ 138

- Q 078 ペメトレキセドという抗がん剤を勧められました  
比較的新しいお薬だとききましたが  
新しい抗癌剤にはどのようなものがありますか \_\_\_\_\_ 139

- Q 079 抗がん剤治療にベバシズマブを併用するといわれました  
どのような薬剤ですか \_\_\_\_\_ 140

- Q 080 抗がん剤治療を勧められました  
78歳で心臓も少し弱く若い人と同じ治療を受ける  
自信がありません \_\_\_\_\_ 141



- Q 081** 抗がん剤治療はいつまで続けるのでしょうか  
治療が終わった後はどうするのでしょうか \_\_\_\_\_ 142
- Q 082** 遺伝子変異が見つかったので飲み薬を使うと言われました  
効果は期待できるのでしょうか \_\_\_\_\_ 143
- Q 083** がん性胸水がたまっているといわれました  
どんな症状が出てくるのですか  
治療法はありますか \_\_\_\_\_ 144
- Q 084** 心臓のまわりに水がたまっているといわれました  
今後どうなるのか心配です \_\_\_\_\_ 146
- Q 085** 苦しくてほとんど寝たきりですが  
抗がん剤治療は受けられますか \_\_\_\_\_ 147

#### **再発・再燃した非小細胞肺癌の治療**

- Q 086** がんの再発・再燃とはどういうことですか \_\_\_\_\_ 148
- Q 087** 再発・再燃するとどのような症状があらわれますか \_\_\_\_\_ 149
- Q 088** 再発・再燃した場合でも治療は可能ですか \_\_\_\_\_ 150
- Q 089** 再発を早期に発見できたのですが  
どうして手術できないのですか \_\_\_\_\_ 151
- Q 090** 脳に再発しました  
どのような治療が可能ですか \_\_\_\_\_ 152
- Q 091** 骨に再発しました  
どのような治療が可能ですか \_\_\_\_\_ 153
- Q 092** 気管や気管支の中に再発しました  
どのような治療が可能ですか \_\_\_\_\_ 154
- Q 093** 治療はいつまで続ければよいのでしょうか  
体にがんが残っているとわれ不安です \_\_\_\_\_ 155

## 第10章 小細胞肺がんの治療 157

Q 094 小細胞肺がんとはどのような肺がんですか 158

### 限局型:化学療法と放射線治療の併用が可能な状態

Q 095 限局型小細胞肺がんと言われました  
どのような状態なのでしょう 159

Q 096 限局型小細胞肺がんにはどのような治療法がありますか 160

Q 097 化学放射線療法でがんは小さくなりました  
再発予防の治療は必要ないのですか 161

### 進展型:抗がん剤組み合わせで治療すべき状態

Q 098 進展型小細胞肺がんと言われました  
どのような状態なのでしょう 162

Q 099 進展型小細胞肺がんにはどのような治療法がありますか 163

Q 100 小細胞肺がんは抗がん剤が効きやすいそうですが  
どのような薬剤が一番よいですか 164

### 小細胞肺がんが再発した場合の治療

Q 101 小細胞肺がんが再発したと言われました  
治療できますか 165

## 第11章 補完代替医療(健康食品,サプリメントなど) 167

Q 102 補完代替医療(あるいは代替医療)とは何ですか 168

Q 103 補完代替医療について患者が知っておくべきポイントを  
教えてください 169

Q 104 補完代替医療が良いか悪いかを  
どのように判断したらよいですか 170

Q 105 抗がん剤治療中ですが健康食品を使ってもよいですか 171

Q 106 免疫力を高めようと思いますがどんな健康食品がよいですか 172

Q 107 サプリメントはいくつも飲むのがよいのですか 173

Q 108 免疫療法について教えてください 174

## 第12章 療養生活でのアドバイス 175

- Q 109 肺がんと診断され不安です  
相談できる窓口はありますか 176
- Q 110 肺がんの診断を受けてショックです  
受け止められません 177
- Q 111 肺がんにかかる治療費はどのくらいでしょうか  
生活費も心配です 178
- Q 112 家族はどのように支えていけばよいでしょうか 181
- Q 113 肺がんと診断され入院することになりました  
準備すること  
心がけることを教えてください 182
- Q 114 通院で抗がん剤治療を行うことになりました  
注意することはありますか 184
- Q 115 在宅療養について教えてください 186

## 第13章 標準治療と臨床試験 WJOGの目的と役割 187

- Q 116 標準治療とは何ですか  
臨床試験がどうしても必要なのですか 188
- Q 117 臨床試験はどのようにして行われるのですか 189
- Q 118 WJOGとはどういう組織ですか 191

# 本書の使い方

この本は、肺がん患者さんに適切な治療を受けていただくために、また患者さんご家族の皆様のさまざまな疑問・質問や不安に答えるために企画され、構成されています。この目的のため、一般的な解説書や教科書の構成でなく、疑問・質問を内容別に取り上げ、それに専門医が答えるQ&A形式を取っています。現時点での最新かつ根拠のある情報に基づいて、専門医が解説やアドバイスをを行っていますが、内容によって、ぜひ受けるべき**標準治療**が確立されている場合と、まだ研究段階で標準治療が確立されていない場合があります。そこで、本書では、それぞれの治療がどの程度推奨されるのかをわかりやすくするため、日本肺癌学会の医師向けのガイドラインをもとに以下のように分類してありますので参考にご覧ください。治療の解説の最後に◎、○、△、×がつけられています。

推奨度◎：国際的な大規模な**比較試験**や、複数の比較研究により、強い根拠をもって治療を受けるよう推奨されるもの。あるいは、データはないが、現代医学や日本の医療事情に照らして、行うよう勧められるもの。

推奨度○：大規模な研究ではないが、比較研究がなされ、ある程度の根拠をもって治療を受けるよう推奨されるもの。あるいは、研究データはないが、おおむね行うほうがよいと勧められるもの。

推奨度△：小規模な研究や、症例報告の積み重ねのデータしかなく、必ずしも治療を受けることがよいとは断定できないもの。あるいは状況により判断や意見の分かれるもの。

推奨度×：信頼できる研究データがなく、治療を行う根拠がないため推奨できないもの。あるいは、研究データはないが現代医学や日本の医療事情に照らして、行うよう勧められないもの。

なお、医学は常に進歩しており、今後の研究によって評価が変更になることもありますのでご注意ください。本書も数年ごとに改訂版を発行する予定です。

## 構成について

ご自身が疑問や興味を持っている質問内容を目次から直接さがし、そのページを見ていただくと簡単に回答が得られるように構成されています。質問の内容は系統的に並べられており、時間があれば、はじめから順次読んでいただくことをお勧めします。肺がんと診断されてから、治療方針の決定、治療内容、再発した時、症状を和らげる治療に至るまで時間経過をおって理解できるように解説しています。

本書は、患者さんや家族のためにできるだけわかりやすく解説するよう努めていますが、どうしても平易な言葉に直せない医学用語があります。このような用語は、そのページの欄外に用語解説を追加しました。また、本書の末尾に索引が掲載されていますので、わかりにくい用語があれば索引を検索してみてください。本書の解説で十分理解できない場合は、インターネットで用語を検索していただくか、本書を主治医や看護師に見せて教えてもらうのがよいでしょう。

## 治療法の名称について

同じ治療法であっても、国や地域、病院によっても呼び方が異なる場合があります。多くは、英語の治療名が日本に導入される場合に呼び方が変わったり、正式な医学用語をわかりやすい名称にかみ砕いて表現している場合です。たとえば、多剤併用化学療法とは、「複数の抗がん剤を組み合わせた治療」を意味しますが、一般には「抗がん剤治療」と表現されます。本書では、できるだけわ

### ● 用語解説 ●

#### 標準治療

現時点で、治療効果が優れ、しかも副作用も耐えられるものであることが「臨床試験」ですでに証明されている治療法。医学の進歩により、逐次新しい治療が導入されているため、現在の標準治療も数年後には標準治療でなくなることもあります。

#### 比較試験

複数の治療法が考えられる時、効果や副作用を調べてどの治療法が優れているかを証明する研究です。第Ⅲ相試験と呼ばれる比較研究では、各々の治療法を公平に評価するため、無作為化割付といって、治療を受ける患者さんが一方に偏らないように治療法が選ばれます。

かりやすく表現するために一般的な用語を用いるように配慮しています。しかし、解説の内容によっては、正式な名称を用いたほうが理解が深まる場合があります。このような場合は、あえて専門用語を用いていますが、できるだけ用語解説をつけるようにしましたので参考にしてください。

## **治療薬の名称について**

治療薬についても、一般名と商品名があります。一般名は世界共通で用いられる薬の名称で、商品名は各々の製薬会社が発売時につけた名称です。したがって1つの一般名に対し、複数の商品名が存在することがあります。本書は原則的に一般名を用いるようにしています。ただし、一般名が極端に長く複雑で、商品名が広く用いられている場合は、限定的に商品名を掲載していますのでご理解ください。商品名には名称の後ろに®マークがつけてあります。

## **個人個人で状況が異なること**

人の顔や体つきが人それぞれ異なるように、同じ肺がんであっても、個々に細胞の種類や、分化度、進行度、年齢、臓器機能や元気さの程度が異なります。

また、喫煙者は、肺の働きが非喫煙者より弱っていたり、薬剤によっては強い副作用が出る場合もあります。本書では、進行度（がんの広がり、転移の有無）や肺がんの種類（組織型）によって推奨される治療法を分類して述べていますが、年齢や合併症、体力により、本書で推奨する治療ができない場合があります。主治医は、患者さんの治療に関して年齢や体力などの医学的理由も考慮して治療を選択するはずですので、本書の推奨する治療通りとならない場合があります。その時は、主治医に相談したり、セカンドオピニオン（Q017参照）を活用してください。

澤 祥幸